家族で楽しむ無料ミニコミ誌

ひろたりあん通信™
HIROTARIAN

青葉・都筑の地域情報紙

2023年 1月号 毎月第3日曜日発行

https://hirotarian.ne.jp/
横浜市青葉区市が尾町1737
発行:青葉区8万部・都筑区2万部

発行：廣田新聞店

避難所運営をゲームで体験

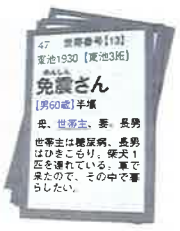
避難所運営ゲームHUG

災害時に自宅が危険な場合、近隣小中学校の防災拠点へ避難することは多くの方がご存じかと思います。では、避難所についたらどうすればいいでしょうか？家族が過ごせるスペースと備蓄してある毛布や食料を家族分確保…なんてことをしていたら、避難所はたちまちパニックになってしまいます。

避難所の運営を行うのは自治会です。「自治」の名の通り、自分たちで助け合う必要があります。お客様ではありません。

避難所運営ゲームHUG（Hinanzyo Unei Game）は、避難所運営をみんなで考える、静岡県発祥のゲームです。年齢・性別・国籍・病気などが書かれた避難者のカードを、避難所の平面図にどのように配置できるか、グループで考えます。青葉区災害ボランティア連絡会（代表 竹下）主催、青葉区社会福祉協議会で開かれた、HUG体験会に参加してきました。

▲カードを見て、適切な場所に配置し、避難所を運営していく。



HUGのルールは簡単です。参加者を7名ほどのグループに分け、小学校の大きな平面図を広げます。避難者に見立てた「避難者カード」がどんどん来ますので、適正な場所に配置します。「イベントカード」が来たら、起きたイベント（主にトラブル）の対処方法を決めて、避難所運営を進めていきます。正解はありません、避難者が困らないよう工夫しながら決断力も求められます。

自分が運営側だったら？と想像して読んでもらえるとありがたいです。

まず、今回のゲームの条件です。

〝12月の午前11時にマグニチュード7・3の地震が発生。現在の時刻は午後16時から午後23時頃で、場所は横浜市内小学校。雨が降っている。〟

受付場所を決めてください▼避難者の多くは体育館で過ごしてもらうので、体育館入り口に受付を設置しました。

体育館の通路を決めてください▼通路がなければ移動の際に、他人のスペースを通らなければならず、ストレスになります。通路をとりすぎると受け入れ人数が減ってしまいます。田の字の通路を確保しました。

〈避難者がやってきます〉

世帯主男性92歳、妻91歳▼高齢ですが、健康状態は問題なさそうなので体育館に案内します。入り口付近に配置しますが、寒いのでは？との意見も、奥だと移動が大変そうです。

世帯主男性51歳、父91歳は心臓病有り▼持病のある方は2年1組に案内することにしました。

ペットの犬を連れてきました▼犬は校庭の鉄棒につないでもらうようにしていましたが、雨に濡れるので、体育館脇の屋根のあるスペースに変更。

世帯主男性35歳独身▼体育館に案内、でも独身女性の隣は避けた方がよいとの意見、なるほど一人では気づかないことも多い。

トイレと保健室を立ち入り禁止にしてください▼下水道が使用できるか不明のため、トイレを立ち入り禁止にします。

ボランティアが5名、どこに配置しますか？▼ありがたいが、全壊している世帯があるそうなので、そちらを優先してもらうことにしました。

ペットの猫を連れています▼犬以外のペットがいるご家族は2年2組の教室に案内。でも全部のペットが一緒で大丈夫でしょうか？

長男4歳がぜんそくの発作を起こしており、受診の必要がある▼保健室はほかの急病人が来たときのため空けておく、心配だが病人の教室に案内。

タバコはどこで吸えば？▼ガマンしてください！とちょっと思いましたが…校庭脇に喫煙所を設置。

皆が使用禁止のトイレを使って山盛りになっているぞ！▼これが今回一番悩みました。私たちの班は、仕方なく一部のトイレのみ開放することにしました。

その後、「妊娠中」「全盲で盲導犬」「熱とせきがひどい」「認知症、おむつが欲しい」「地震で両親を亡くした子ども」と難題が続きます。最後はバス旅行中に地震に遭遇した団体が避難してきて体育館はあふれてしまいました。まだ教室に空きがあったので受け入れましたが、余裕がなければ断らざるを得なかったかもしれません。

◆体験会に参加し、ほんの一部分ですが避難所運営の大変さを感じることができました。災害時の備えを、避難グッズや食料など自分と家族のことばかり考えていたのが恥ずかしい…。避難所運営をスムーズにするためにも、自治会加入をおすすめします。

地域防災拠点は、災害発生後、準備などがありますので、すぐに立ち上がるものではないことも覚えておきましょう。

たまプラ キャラクター決定戦

美しが丘小学校6年1組は、総合的な学習の時間の活動で、たまプラーザの商店街を盛り上げるための活動をしています。その一つとして、たまプラーザのキャラクターを作ることにしました。地域の方々のご協力のおかげで、702点の作品が集まりました。

作品の中から、連合自治会・たまプラーザの3つの商店街の方々とともに、3つの候補を選びました。3つのキャラクターの中から1つを選んでQRコードから投票してください。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

3つの候補の中から1つ選んでください。投票は、1人1回です。

投票用

投票しめ切り 2月8日(水)

結果発表 2月13日(月)

美しが丘小学校ホームページ ひろたりあん通信2月号にも掲載します

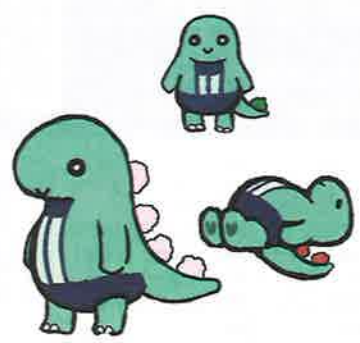
A「プラたまん」

「たまご」+「宇宙」→「たまプラネット」をイメージ。たまプラには宇宙のように無限大の可能性がありたくさんの楽しさがあふれる場所になってほしいという願い。★には買い物した物など何でも入る。T(たま)とP(プラ)のボタンがついている。

B「たまっぷ」

モチーフにしたクオッカという動物は「世界一幸せな動物」といわれている。たまプラのみんなにも幸せになってほしいという願い。たまプラは、自然豊かなので、頭に木のかぶりものをかぶっている。特技は、みんなを笑顔にすること。性別は男の子。

C「たまぷらーざうるす」



緑あふれるたまプラーザ駅周辺を描いた。たまプラを訪れて、笑顔になった人々を眺めることが好きな穏やかな恐竜の子。おなかの3本線は駅の屋根をイメージ。仰向けに転がると駅のよう。背中の色は、桜の木をイメージ。春は、ピンク。秋には紅葉する。